

結核臨床研修会報告

医療社会事業専門員 上田 竜也

当院では平成13年度から石川県の各地で、結核医療における地域の医療機関相互の連携強化を図り、結核医療の向上に努めることを目的とした結核臨床研修会を開催しています。当院では平成27年度から、石川県における結核診療の中核病院に指定され、本研修会により力を入れています。

今年度第1回は平成29年6月4日に公立松任石川中央病院の講義室をお借りして開催しました。

石川中央保健所長 伊川あけみ先生をお招きして、管内での結核患者の発生状況についてご講演いただきました。平成25年度から管内の結核患者数は減少しているが石川県全体としては横ばいが続いていること、約7割は高齢者であることなどが述べられました。

当院職員からは堂下隆内科医師から「結核診断のポイントについて」と題して結核菌関連検査から実際の症例に基づく診断のコツの説明がありました。藤村政樹院長から「結核症例の実際について」と題して当院で経験した5つの結核症例や結核に似た他の疾患について紹介しました。一花知子結核看護院内認定看護師から「結核発症時の施設内対応と当院における看護について」では、感染防止対策、抗結核薬について、DOTSカンファレンスや退院後の対応、精神的援助にいたる流れの具体的な説明がありました。中川かつ枝感染管理認定看護師から「施設内での結核患者発症時の接触者調査について」では、結核患者の感染性の有無とその強さを判断し、接触者健診の対象者を選択していくことをわかりやすく説明しました。

研修後のアンケートは例年好評で、「結核についての知識を整理できた」、「基本的な内容を今一度復習できた」、「結核に関する現状、診断や治療、看護についてまとめとて学べる有意義な研修だった」などの感想をいただきました。



12月10日に能登中部地区を対象として、当院の新しい会議室で今年度第2回を開催予定です。今後も中核病院として様々な情報を発信していきたいと思っております。